



丁寧に土をかけヤマザクラの苗木を植樹する参加者たち

### 町植樹祭でヤマザクラ植樹 豊かな森林を守り受け継ぐ

第21回町植樹祭（町産業振興協議会主催）は5月15日、森のこだま館周辺で町内に限定した関係者ら約30人が出席し、開催されました。鈴木重男町長は「林業を基幹産業とする町として、規模を縮小して開催しました。来年は以前と同じ盛大な植樹祭ができるように願いながら植樹しましょう」とあいさつ。参加者らは、こだま館裏の平庭地区町有林に移動し、ヤマザクラ35本を植樹しました。町植樹祭は、毎年、園児や児童のほか林業関係者など約300人が参加し、豊かな森林を守り受け継いでいます。



ミルンちゃんの顔のパーツを組み合わせて形を整えていく部会員ら

### ミルンちゃん型クッキー 新たな町の特産品目指す

4月30日、くずまき観光地域づくり協議会の特産品検討部会がcafeやどり木で開催され、本格的な商品化に向けて取り組みを進めている「ミルンちゃんチョコレートクッキー」の試作品を作りました。「チョコレート」は「炭」を意味し、クッキーには葛巻産の炭粉末が使用されています。この日は、パッケージまで行い、クッキーとのバランスや実際に店頭に並んだ際の印象などを話し合いました。クッキーは、今年度中の商品化を目指して取り組みが進められています。



鈴木重男町長に目録を手渡す田向定雄さん

### 園児の健やかな成長願い 田向定雄さんが絵本寄贈

盛岡市でいわて不動産㈱を営む本町出身の田向定雄さんが、4月16日、町内の保育園に絵本と教育用品などを寄贈するため、町長室を訪れました。今回の寄贈は、企業が資金調達を行った際に発生する手数料の一部を寄付金として充てる㈱岩手銀行の「いわぎん みらい応援私募債」を活用し、実現したもの。田向さんは「未来の宝の子どもたちに本を贈ることで、将来の糧にしたいです」と健やかな成長を願っていました。

### 青少年の健やかな成長願い 非行帽子マスコットを贈る

町更生保護推進協議会（辰柳敬一会長）は4月17日、葛巻中学校を訪問し、新入生21人に帽子型のマスコット「非行帽子」を手渡しました。辰柳会長は「皆さんがこれから3年間、真面目に一生懸命勉強してほしいとの願いが込められた帽子です」とあいさつ。生徒を代表して服部蒼来さんが「非行をしないことを誓い、学校生活に生かします」とお礼の言葉を述べました。帽子型のマスコットは青少年の非行防止を目的に、同女性の会の会員らが一つ一つ手作り。町内の中学1年生32人に贈られました。



生徒を代表してマスコットを受け取る服部蒼来さん（中央）

### 園児ら絵本に大喜び 感謝と豊かな心育む

葛巻保育園（茅森幸子園長、園児61人）では、園児らが新しい絵本を前に大喜び。お気に入りの絵本を選び、夢中になって読んだり、お友だちに紹介していました。



お気に入りの絵本を手にし、夢中になって読み入る子どもたち



換気をしながら作業を分担し次々と手製マスクを仕上げている皆さん

### 地域みんなで支え合い お手製マスク150枚配布

4月30日、車門自治会（本宮正志会長、58世帯）では布製マスク約150枚を手作りし、各世帯に2枚ずつ配布しました。同副会長の西中忠志さん（67歳、車門）が、お年寄りが手拭いをマスク代わりに顔を覆って結び、犬の散歩している姿を見掛け「自分たちに何かできないか」と近所の皆さん10人ほどに声を掛け実行したもの。西中さんは「換気をしたり、三密を守りながら2日かけて作成しました。自治会の皆さんは、いつもすぐに動いてくれるのでありがたいです」と感謝していました。